第１回 特別職報酬等審議会会議録（要旨）

［日　　時］　平成２６年１０月７日（火）　午後５時３０分～午後６時３７分
［場　　所］　府中市役所 北庁舎 第１・２会議室
［出 席 者］　委　　員（五十音順・敬称略）
井上 郁子、小野澤 せつ子、郭 東仁、川上 紀代子、木村 講和、
櫻井 誠、杉田 廣己、濱中 重美、安田 均、山崎 猛
事務局等
高野市長、町田政策総務部長、古森職員課長、渡邊職員課長補佐、
青木人事係長、稲葉主任、長嶋主任
関根議会事務局庶務課長、扇山議事係長

［会議経過］

１ 開　　会　　政策総務部長の司会により開会。

２ 委嘱状交付　　各委員に委嘱状を交付。
司会より任期等の説明を行う。

３ 市 長 挨 拶　　市長より挨拶。

４ 委 員 紹 介　　各委員紹介(五十音順)。

５ 事務局紹介　　職員自己紹介。

６ 会長・会長代理選出
司会から、会長は委員の互選、会長代理は会長の指名により選任する旨の説明を行う。
会長に濱中委員を推薦する声あり。（全員賛成）
（会長挨拶）
会長が、会長代理に山崎委員を指名。
（会長代理挨拶）

７ 諮　　問　　市長が諮問文を朗読し、会長に渡す。
（市長退席）

---------- 以降の議事進行は、会長により進められる。----------

８ 議　　題

⑴　会議の公開、会議録の公表
事務局（職員課長）より、府中市情報公開条例の規定に基づく本審議の会議の公開及び会議録の公表について説明があった。会長が事務局の

説明を受け各委員に意見を求め、事務局の説明のとおり本審議会の会議については公開、会議録については要旨を公開することとなった。

⑵　会議方法・日程

事務局（職員課長）より、これまでの会議方法・日程について説明があった。

会議方法・日程について協議し、以下の事項について確認した。

・会議方法は、これまで同様に全体会議と小委員会（会長・会長代理）により行うこと。

・審議の状況にもよるが、全体会議を４回程度、小委員会を１回開催すること。

・今後の全体会議の日程。

第２回 平成２６年１０月２８日（火）午後５時３０分

第３回 平成２６年１１月１０日（月）午後５時３０分

第４回 平成２６年１２月　２日（火）午後５時３０分

⑶　資 料 説 明

事務局（職員課長補佐）より資料説明があった。

＜各委員からの質問等＞

別紙「質疑・意見等（要旨）」参照

⑷　そ　の　他

事務局（人事係長）より、報酬の支払い方法、本審議会委員の名前等を広報ふちゅう１０月２１日号に掲載をすることなどの説明があった。

また、審議会への意見、追加資料等の要望、欠席等の連絡は、事前に事務局まで連絡をお願いしたい旨の依頼があった。

質疑・意見等（要旨）　　※進行順

（委　員）　議員報酬以外に収入がなく、報酬が生活費になっている議員と、議員報酬以外に収入のある議員が、それぞれどの程度いるのか教えてください。

（事務局）　議会事務局では、議員の職業は把握していますが、どの程度の収入があるかは把握しておりません。

（委　員）　資料１１についてですが、比較的どの順位を見ても上位のいい位置にいますが、実質収支比率が一つだけ１３位となっており、他と比べると順位が低くなっている理由を教えてください。また、投資的経費にどのような内容が含まれるのか教えてください。

（事務局）　実質収支比率については、歳入歳出差引額から繰越額を控除した額の標準財政規模に対する割合であり、実質は黒字の割合をしめす数値になっていまして、その年の各市の財政の状況で、差額が多い場合はこの数値が高くなるため、当該年度の財政状況によって数値がまちまちになります。年度の歳入があったものを、しっかりと歳出として使っていくことを鑑みれば、先ほど説明のありましたように５％程度が通常ではありますが、平成２５年度はもう少し数値が高くなっていますし、これだけで一概に他市の状況とは比べにくい数字であります。

（委　員）　ではあまり相対評価しないほうがいいのですね？

（事務局）　はい。平成２４年度は、５％の実質収支比率となっておりますので、特段府中市が財政上逼迫している状況にはないものと判断できます。
　投資的経費の関係については、府中市は都市基盤整備等が他市より進んでおりますが、現在本市では、再開発事業を進めていることから値が高くなっております。また、第１位の稲城市につきましても、現在大規模な区画整理事業を行っており、第２位の国分寺市についても再開発事業を進めているため投資的経費が高くなっているものと思われます。

（委　員）　議員の政務活動費が話題になっているが、府中市では支給された政務活動費が全て使い切られているのか、もしくはどの程度使われているのか教えてください。

（事務局）　会派によって政務活動費の使用状況は異なるため、一概に申し上げられません。（後ほど補足で）一人あたり政務活動費は年間５４万円で、全体での執行率は８６．７％となっています。

（委　員）　次回で結構ですが、基金残高の推移の資料をいただきたい。行政側から今財政が逼迫していると盛んに訴えられています。例えば、公園の清掃を近隣の自治会が行っている場合は、清掃手当が出ていたが、来年は半額で再来年はゼロになるので、ボランティアでやってもらいたいと市民に対して提案をしています。

特別職の報酬額も市民感情を重視して考えなくてはならないと思います。平和島の競走事業収入などで、基金の積み立てができていたが、その取り崩しをここ数年行っている状況にあると思います。

今後も市庁舎の建替えや、再開発事業などで歳出が増えるかとは思いますが、この資料を見る限りでは府中市は財政が苦しいという印象は受けないので、その確認のためにも基金残高の推移の資料を次回の会議の際にいただきたいと思います。

（事務局）　基金の推移の資料につきましては、次回までにご用意いたします。なお、今現在把握しております基金残高の推移を申し上げます。平成２２年度につきましては、３５６億円、２３年度は３５０億円、２４年度も同額で３５０億円、２５年度は２７２億円、２６年度は２９７億円といった状況になっております。

（委　員）　常任委員会委員長の報酬額が新たに諮問に加えられていますが、創設されるにあたっての経緯を教えて下さい。

（事務局）　市議会議長より市長に対して、委員長報酬の創設のお願いをさせていただき、この場に出させていただいている状況です。

（委　員）　資料６の府中市・国・都の改定率について、府中市は平成７年を１００とした場合に平成２５年度が８６．７となり国･都と比べてかなり低くなっていますが、どのような要因があるのでしょうか。

（事務局）　職員の平均年齢が下がっていることが要因の一つです。団塊の世代が退職した後の平均年齢は２６市の中でも若い方から上位にいる状況です。また、職員の給料表の見直しや構造の見直しを進めたことも指数が下がっている要因となります。